

8-1-10 広報事業専門委員会

1. 主な活動の記録

中期行動計画（2014～2018）で広報事業専門委員会が担務する施策1-2 “1-11 魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進”に沿って、平成30年度計画を立案し、各委員で分担して下記の事項を実施した。

- (1) 広報事業専門委員会の開催
委員会開催回数：10回（8、3月は休催）
- (2) 学生懸賞論文および建コンフォト大賞の募集・表彰
学生懸賞論文および一般対象の「第10回建コンフォト大賞」、中・高校生対象の「第6回建コンフォト大賞Jr.」を実施した。なお、建コンフォト大賞は、10回を記念して当協会と関係のある出版社および新聞社の協賛による開催とした。審査の結果は、会誌「Consultant」および協会ホームページ（以下、HP）に掲載した。
- (3) 建コンフォト大賞入賞作品の活用による広報活動

7月28日から1週間、首都高川口PA休憩施設内で、今回で6回目となる第9回建コンフォト大賞入賞作品による展示会を開催した。また、学生への直接的広報の機会として、11月3日に開催された日本大学理工学部オープンキャンパスにおいて、第8回建コンフォト大賞入賞作品13点を用いた展示会を開催した。さらに、支部開催のイベントへの入賞作品パネルの貸出、協会HPの建コンフォト大賞ページの作品ギャラリーおよび建コンフォト大賞Jr. 応募作品モザイクアートの更新を行った。



首都高川口PAでの写真展の様子

- (4) その他
各号発刊毎に協会誌のモニタリングを行い、意見を会誌編集専門委員会へフィードバックした。また、広報戦略委員会の要請により協会カレンダー製作に伴う作品画像データの収集と提供、「建設コンサルタント白書」のグラビア原稿作成を実施した。さらに、会誌編集専門委員会にて来年度発刊予定の書籍「土木遺産VI」の企画、編纂、発刊準備支援を行った。

【学生懸賞論文および建コンフォト大賞の審査結果】

a) 懸賞論文（学生論文）

テーマ（2つより選択）

- ①「あなたが市長なら、どのような“まちづくり”をしたいですか？」
- ②「あなたの暮らしを豊かにする土木技術の今と未来」

応募結果 総数：20編

審査結果

最優秀賞：1編（5月協会総会にて表彰予定）

「宝塚市における、かわまちマーケット計画」 小松 秀晃氏（神戸大学）

優秀賞：1編（5月協会総会にて表彰予定）

「公共工事における技術競争の展開とその未来」 佐久間 悠太氏（東北大学大学院）

特別賞：2編

「市民の健康増進を目的としたまちづくり」

松之内 陽介氏（長岡技術科学大学大学院）

「ICTインフラの活用と広域連携による消滅可能性都市の再生の道」

丸岡 陽氏（長岡技術科学大学大学院）

b) (一般の部)第10回建コンフォト大賞

テーマ「あなたのお気に入りの“土木施設”」

応募結果 総数：328点

審査委員

委員長：宇於崎 勝也（日本大学教授）

審査委員：知野 泰明（日本大学准教授）

八馬 智（千葉工業大学教授）

初芝 成應（日本写真作家協会会員）

野崎 秀則（広報戦略委員長）

審査結果（5月協会総会にて表彰予定）

最優秀賞：1点（岡本 芳隆氏）

優秀賞：2点（栗原 正隆氏、松元 澄夫氏）

特別賞：10点



「歴史の面影を感じて」

岡本 芳隆



「交差点模様」

栗原 正隆



「晩秋の煌めき」

松元 澄夫

c) (中・高生の部)第6回建コンフォト大賞Jr.

テーマ「“土木施設”を探せ！」

応募結果 総数：118点

審査委員 宇於崎 勝也（一般の部審査委員長）

広報事業専門委員会 委員（11名）

審査結果

Jr. 最優秀賞：1点（山田 真緒氏）

Jr. 優秀賞：2点（近藤 恭子氏、千田 夏鈴氏）

Jr. 特別賞：10点

2. 次年度の活動について

中期行動計画（2014～2018）施策1-2「魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進」の施策に沿って、学生懸賞論文・建コンフォト大賞募集・表彰、建コンフォト大賞入賞作品の活用による広報を中心に活動する。

（広報事業専門委員会委員長 米岡 威）